

基本計画

ミッション 建学の精神：『人間愛』の教育

ビジョン キーフレーズ：ていねいに、たくましく育てる文教

目指す姿：教育リーディング・ユニバーシティ文教 ～教育力トップを目指す～

- 人を大切にし、人からも大切にされる豊かな人固性の養成
- 時代を切り拓く強い意志を持ったニューリーダーを養成
- 人固としての教養
- 職業人としての専門知識

今後10年間の目標：① 学習者1万人以上維持・確保 ② 学習者の満足度90%以上

経営が教学と連携して実現を目指す目標

【大学部門関係】

入学者数対定員倍率（毎年10月理事会決定）の確実な履行

今後4年間

- ① 一般入試志願者数 2017年度入試までに18,000人を上回り、以後これを維持・増加させていく
- ② 偏差値 2017年度入試までに少なくとも50を上回り、以後これを維持・引上げていく
- ③ 進路決定率 2017年3月卒業生までに90%を上回り、以後これを維持・引上げていく
- ④ 満足度 2017年3月卒業生までに85%を上回り、以後これを維持・引上げていく

10年後

- ① 一般入試志願者数 2023年度入試までに20,000人を上回り、以後これを維持・増加させていく
- ② 偏差値 2023年度入試までに55～60に達することを目指す
- ③ 進路決定率 2023年3月卒業生までに95%を上回り、以後これを維持・引上げていく
- ④ 満足度 2023年3月卒業生までに90%を上回り、以後これを維持・引上げていく

参考指標：① 退学率 ② 標準修業年限進路決定率 ③ 入試実質倍率（志願者数/合格者数）

教学・経営共同

- 海外留学・研修等及び留学生への支援（国際交流センター設置支援を含む）
- 就学機会の充実
- 就職支援の強化
- 社会人やシニア層の学び直しニーズへの対応
- 大学院のあり方・改革
- IRの構築

教学

【大学】

学生を成長させる教育の提供

- シラバスの充実・改善
- カリキュラムの体系化
- ポートフォリオの導入
- 学習支援室の設置
- 入学前教育・初年次教育の充実
- ニーズに対応した学部・学科、研究科の改組の実施
- キャンパスコミュニティづくり
- 担任制度の確立と充実
- 教員のオフィス・アワー制度の全学実施
- 学生支援室の機能充実
- 就学支援の充実
- 国際交流センターの設置
- 留学生支援の強化（宿舎・働く場・学修支援）
- 留学希望者に対する語学サポート支援
- 魅力的な海外研修プログラムの開発

キャリア教育・進路選択支援の充実

- ポートフォリオを活用した学生のキャリア形成支援
- キャリア教育・進路指導専門員の配置

志願者増と優秀な入学者の確保

- 学部と連携した志願者の確保（大学院）
- 学内進学者入学金の扱い検討（大学院）
- 社会人のニーズに合わせた受入れ体制の検討
- 各入試区分の特長の明確化
- Web 出願方式の検討・実施

地域連携の推進

- 生涯学習センターの事業戦略の明確化
- シニア層を意識した聴講制度の検討

研究力の向上

- 効果的な支援の実施による研究力の強化
- 外部研究費獲得に向けた取り組みの強化

改革を実行する体制づくり

- 戦略を全学的に取り組む体制の創出
- 各種データの収集、集中管理、分析と結果の活用
- 海外研修・出張等での事故・災害発生時の対応

【付属校（中高・小学校・幼稚園）】

- 目標・運営計画」等の理事会への説明・報告は上記に準ずる
- 付属校の目標については、別途、担当理事・学校長等で更に検討を深めていく

経営

競争力を持った教育環境の整備

- キャンパスリニューアル
- 新キャンパス開設
- 付属校の競争力強化

強固な財政基盤の確立

- 寄附金事業の推進
- 学園財政の検討

変化対応力のある組織力の確立

- ガバナンス体制の検討
- 情報システムの整備・情報セキュリティ体制の強化
- リスク管理対応体制の強化
- 学園内の連携強化

学園ブランドの確立

- 校友会活動の推進
- 地域マーケティング強化
- 戦略的広報活動の展開

①を説明

②を報告

③対策を検討・実施

理事会

進め方

- ① … 4年後、10年後の目標を念頭に置きつつ、毎年の目標、運営計画を策定
- ② … 毎年の実績を確認

①を説明

②を報告

③ 理事会が連携して対策を検討・実施

アクションプラン